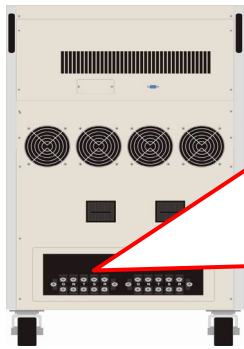


# 三相4線出力方式による世界各国 (ワールドワイド)の電源電圧再現方法

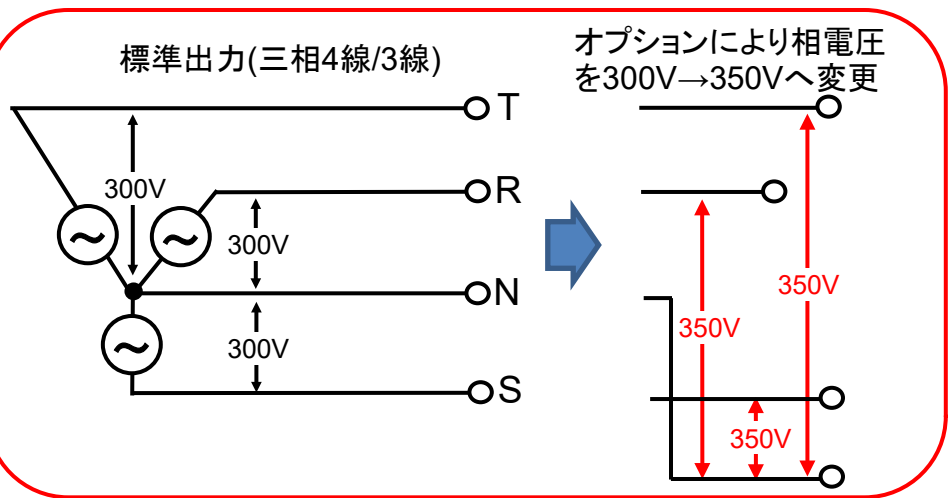
一般的な三相交流電源は、出力最大電圧が最大310V(線間電圧537V)です。よって三相480Vの模擬では+10%(528V)の再現しかできません。しかし最大電圧変動として±20%を求めるケースがあり、特注以外での対応はできませんでした。力率改善回路を削除した6300シリーズと標準化した350V出力オプション(Opt.674)を用いることで、ローコストで世界各国の電源電圧を再現することが可能です。

## テストイメージ

6300シリーズ背面例



大容量プログラマブル交流電源  
6300シリーズ



三相4線480Vrms±10%の変動試験を行う場合、432Vrms～528Vrmsの変動電圧が必要  
三相4線480Vrms±20%の変動試験を行う場合、384Vrms～576Vrmsの変動電圧が必要

	Lowレンジ(線電圧)	Highレンジ(線電圧)
標準仕様(300Vrms)	0～260Vrms(L-L間)	0～520Vrms(L-L間)
350V出力オプション	0～303Vrms(L-L間)	<b>0～606Vrms(L-L間)</b>

350V出力オプションOpt.674追加時の電圧について

最大606Vrmsの出力可能。  
よって世界最大系統電圧  
480Vrms±20%の試験が可能。  
**世界各国の電源電圧を再現**

## 特長

## 6300シリーズ

- ・力率改善回路(PFC)を削除したローコスト版を10kVA～240kVAをラインナップ
- ・AVR(自動電圧調整器)と同価格帯で通信制御可能なVVVF電源
- ・容量モデル別に一体型とすることで、小型・軽量を実現